

重要：このクイックリファレンスガイド(QRG)では、内視鏡を正しくリプロセスするために必要な手順の概要を説明します。
詳しい手順は**取扱説明書（洗浄 / 消毒 / 滅菌編）**を参照してください。



参照：
第5章
▶5.7.3～5.7.6

警告：リプロセスを行う場合は、適切な保護具を着用してください。保護具の着用が不適切な場合、感染の原因となるおそれがあります。
付属品のリプロセスは取扱説明書を参照して実施してください。

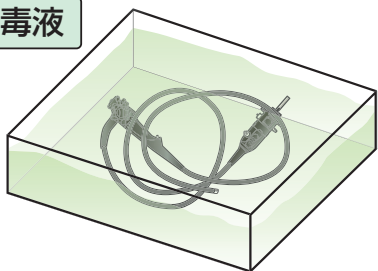
A. マニュアル消毒

5.7.3

1 消毒液に浸漬する

5.7.3
(1)~(2)

消毒液



消毒液に内視鏡を完全に浸漬します。

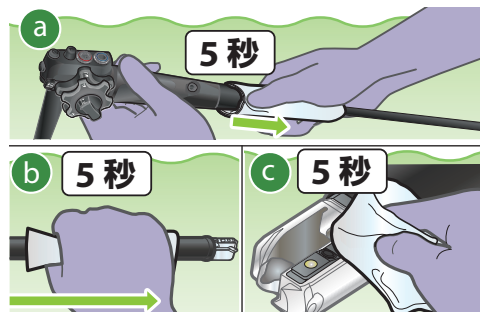
警告：消毒液の使用法、使用条件および使用期限については、消毒液製造販売業者の『添付文書』および『取扱説明書』に従ってください。これに従わない場合、感染の原因となるおそれがあります。

注意：消毒中は内視鏡が完全に浸漬した状態を常に保ってください。

2 挿入部を拭く

5.7.3
(3)

内視鏡が完全に浸漬した状態を保ちます。



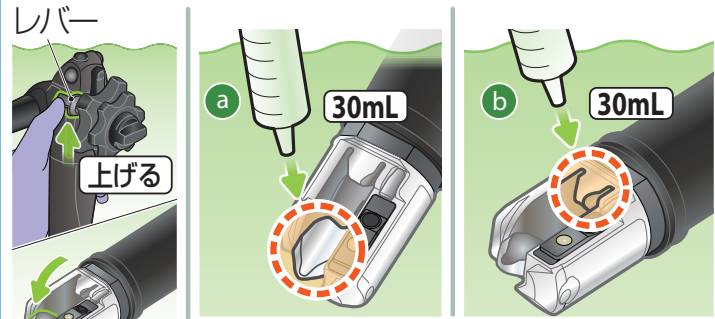
挿入部の各部を 5 秒間拭きます。

- a 軟性部
- b わん曲部
- c 先端部

3 鉗子起立台に消毒液を注入する

5.7.3
(4)~(6)

鉗子起立台を下げた状態



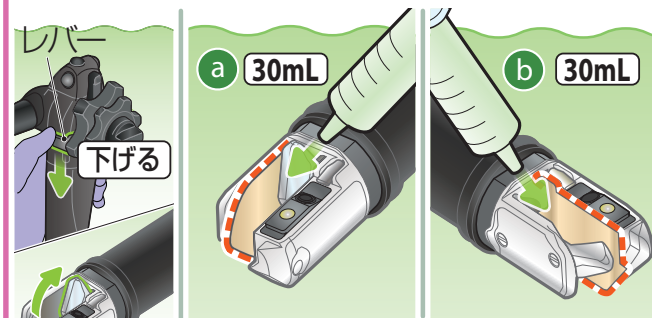
各部に 30 mL (30 mL × 1 回) の消毒液を注入します。

- a 鉗子起立台の前面
- b 鉗子起立台の切り欠き

4 鉗子起立台に消毒液を注入する

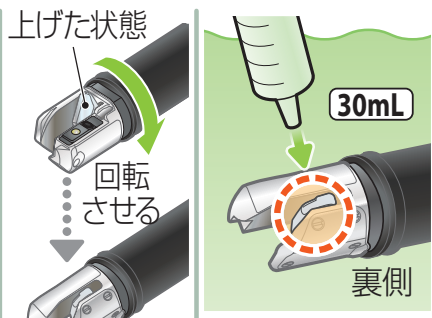
5.7.3
(7)~(11)

鉗子起立台を上げた状態



各部に 30 mL (30 mL × 1 回) の消毒液を注入します。

- a 左側の壁
- b 右側の壁



鉗子起立台の付け根の裏側に 30 mL (30 mL × 1 回) の消毒液を注入します。

- a 裏側

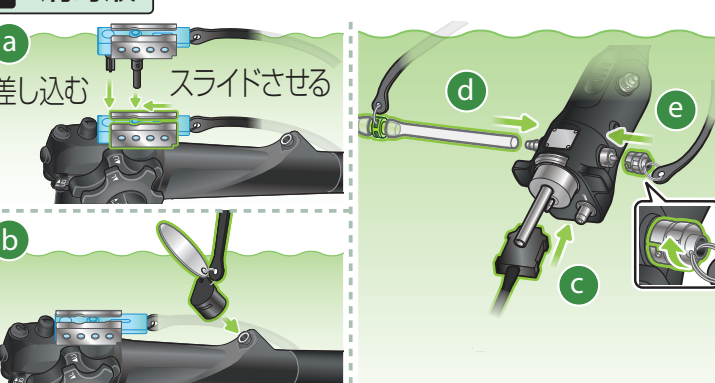


鉗子起立台を下げる

5 洗浄アダプターを取り付ける

5.7.3
(12)

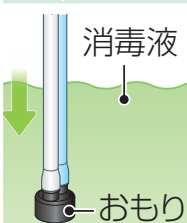
消毒液



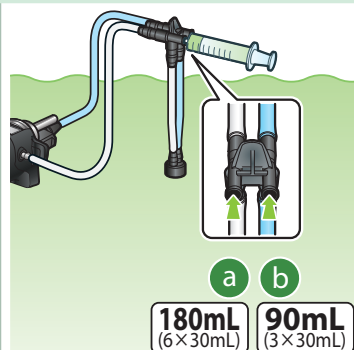
消毒液中で、洗浄アダプターのすべての部品を取り付けます。

6 管路に消毒液を注入する

5.7.3
(13)~(16)



消毒液中、おもりを浸漬します。



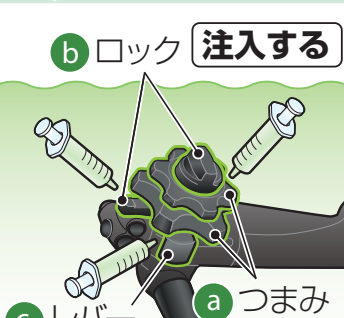
以下の管路に消毒液を注入します：
a 吸引 180mL (6 × 30mL)
b 送気送水 90mL (3 × 30mL)



消毒液中で、洗浄アダプターのすべての部品を取り外します。

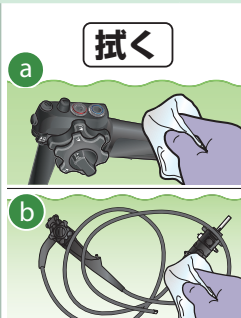
7 外表面から気泡を除去する

5.7.3
(17)~(19)



各部の溝に消毒液を注入します：

- a 上下 / 左右アングルつまみ
- b 上下ロックレバーおよび左右ロックつまみ
- c 起立レバー



各部を拭いて気泡を除去します：

- a 操作部
- b すべての外表面

8 気泡がないことを確認する

5.7.3
(20)



内視鏡の外表面に気泡がないことを確認します。

注意：気泡が残っている場合は、気泡を清潔なガーゼで拭き取ります。

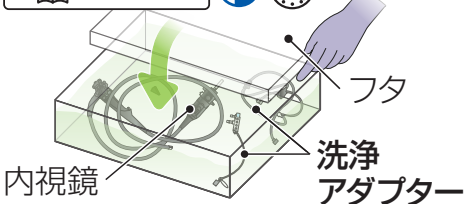
注意：内視鏡が完全に浸漬した状態を保ちます。

9 消毒液に浸漬する

5.7.3
(21)

消毒液

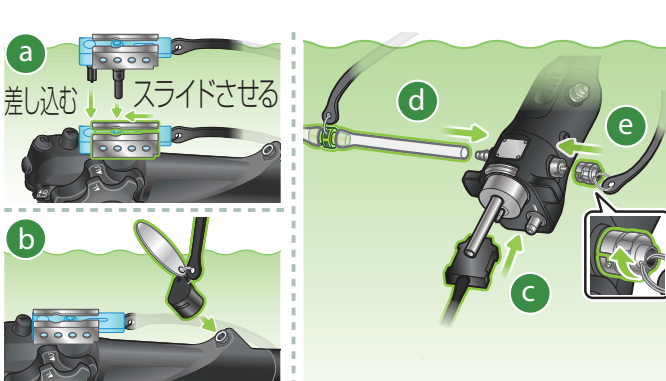
浸漬時間



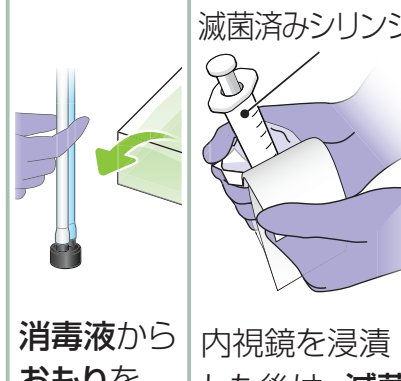
- a 容器にフタをします。
- b 消毒液製造販売業者が推奨する浸漬時間を確認します。
- c 内視鏡と洗浄アダプターを浸漬します。

10 洗浄アダプターを再び取り付け、管路に空気を注入する

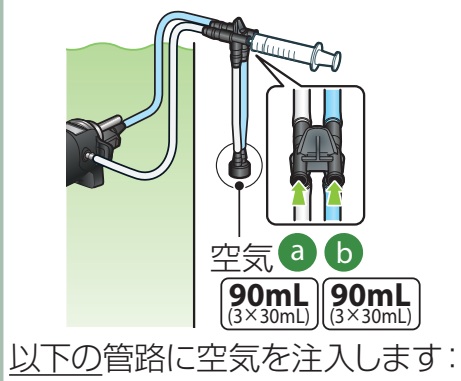
5.7.3
(22)~(25)



消毒液中で、洗浄アダプターのすべての部品を取り付けます。



内視鏡を浸漬した後は、滅菌済みシリンジを使用します。



以下の管路に空気を注入します：
a 吸引 90mL (3 × 30mL)
b 送気送水 90mL (3 × 30mL)

注意：空気を注入後、ただちに内視鏡の管路のすすぎを行います。

